

(様式第4号)

上田市博物館協議会 会議概要

1	審 議 会 名	令和4年度上田市博物館協議会（書面審議）		
2	日 時	令和4年5月16日		
3	会 場			
4	意見書 提出者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、神戸委員、若林委員、前澤委員、 寺島委員		
5	市 側	坂部市立博物館長、小山信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長		
6	公開・非公開	公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開		
7	傍 聴 者	0人	記者	0人
8	会議概要作成年月日	令和4年5月20日		
協 議 事 項 等				

例年5月に上田市博物館協議会を開催していたが、5月上旬においても未だ上田市の新型コロナウイルス感染警戒レベル5のため、書面審議とする。ついては、事前に送付した資料について、期限までに意見書をいただき、会議概要としてまとめる。

1 書面審議事項

- (1) 市立博物館の令和4年度事業計画案 資料1
- (2) 信濃国分寺資料館の令和4年度事業計画案 資料2
- (3) 報告事項等(令和4年3月書面審議の会議報告、4月19日付人事異動報告、上田市博物館協議会委員名簿)

2 意見書内容

(1) について

- ・夏季、秋季企画展とも意欲的な企画の内容であり、期待している。秋季について、担当者の突然の異動により、開催できるのか憂慮している。新館長を含め、職員が一丸となって、よい展示としていただきたい。
- ・祇園祭の成り立ちがわかる内容が欲しい。疫病退散から始まったようだが、京都の場合は祭＝まつりで全国的には、祭＝さいと言うようだ。京都の祭りとの係わりがあるのか知りたい。
- ・常田・房山獅子の他にも上室賀、下之郷の三ツ頭獅子も展示は？展示は華やかさはないが、じっくり本来の姿を知る事が可能なので期待している。新収蔵資料も楽しみ。
- ・櫓の復元を楽しみにしている。城跡に城が復活に近づく。橋のリベットも見たい。
- ・夏季企画展：江戸期、当地方の人々が、どのようにコミュニティを形成していたかその一端をうかがい、現代に通じるものを探すよい機会。
- ・秋季企画展：櫓門復元で終りではなく、これからも市民の力により復元整備が継続して行く気運につなげて行ければと思う。
- ・講座について、興味深く、よい企画だと思う。
- ・祇園まつりについて、地元住民の努力で「お舟の天王山車」を修復されたことを取り上げて頂きたい。
- ・祇園祭とまちづくり展、講座を含めて期待している。
- ・都市計画課がすすめている、歴史的風致維持向上の事業の資となればと思っている。
- ・まちづくり（上田城を中心とした祇園際など）をテーマに展覧会が組まれ、大いに期待するところ。
- ・また、歴史を振り返りつつ、今日の現状も照会して、時代のつながりを是非展示内容で確認したい。

(2) について

- ・企画展、講座等未定になっており、それをどのように理解してよいのか。運営の継続のために配慮していただきたい。
- ・半過、岩鼻について、展示で詳しく知りたい。
- ・半過地域に古墳群があること自体あまり知られていないと思うのでよい機会。
- ・蘇民将来符の由来や、八日堂縁日図は立派らしいのでじっくり観賞したい。
- ・岩鼻については興味があったが、なかなか勉強する機会がなく、よい企画だと思う。
- ・企画展を構想して、計画を進めて行くことは、大変だが、知恵をしばって下さい。
- ・講座等の夏休み全3回企画が盛り込んであり、とても良かった。

(3) その他意見

- ・常日頃思っているのは、図書館・博物館・資料館等は、対外的にも上田市民へのサービスのためにも、専門の知識と経験を持った人を育成し、継続して配置していただきたいということ。
- ・コロナ禍で、ひき続き対策が必要と思いますが、講座・企画展・会議等できるだけ行うように考えていただければと思う。
- ・保野の塩野神社に伝わる祇園祭は約400年前から行われ、獅子舞も奉納されると知人から聞いた。やはり無病息災の神事なのか。御興で華やかに楽しむ事が不可能な昨今、展示で気分を楽しくしたい。
- ・地道な取り組みに敬意を表します。
- ・(上小郷土研究会役員有志として) 微力ながら古文書の整理をさせて頂き、大変勉強になった。
- ・両館ともに館長が交代ということで大変だろうが、無理をしない程度での御健闘を祈っている。
- ・コロナが少し落ち着いたら、所蔵資史料の整理を、上小郷土研究会に再開していただいて下さい。
- ・地元の人間にすれば、資史料の紹介は、ミニ展示と解説でも楽しいもの。企画展の間に工夫して挟んで下さい。
- ・今年度も東信地域博物館の中心館として、ご活躍を大いに期待している。

3 意見書を受けて今後の対応

- ・コロナ禍での企画展や博物館事業について、様々な御意見をいただき、大変ありがたい。今後の企画展、講座、各種事業の参考とさせていただきたい。
- ・コロナ禍においても、十分な感染予防対策と工夫をしながら、魅力ある企画展や講座等の開催に努め、メディア等を活用した市内外へのPRを行っていききたい。
- ・今後、新型コロナウイルス感染拡大状況をみながら、上小郷土研究会役員有志の方々による古文書整理も再開していききたい。
- ・博物館の職員体制についても、引き続き人事担当部署に学芸員の人材育成や配置等について相談していききたい。